

カルテック 株式会社

所在地

大阪府中央区博労町 3-3-7

ビル博文

事業内容

光触媒原材料及び応用製品の開発・販売

T E L

06-6244-0760

光触媒技術を応用した空気清浄機を開発

2018 年 12 月に最初の製品を出荷して以降、当社独自の光触媒技術により開発した空間除菌・脱臭機を市場に投入。現在は「空気」のみならず、「水」に関連する新製品を開発中。

沿革

◆ 起業に至る経緯、創業者の経歴

代表取締役の染井潤一氏は、今から 40 年程前の学生（高専）時代に、光が当たると水が酸素と水素に分離されるという画期的な光触媒技術と出会い、とても強い衝撃を受け、これをいつか形にしたいと思い続けてきた。

大学院修了後はシャープ株式会社に入社。ただし、専攻していた化学とは全く畑違いの電気回路関連の部署に配属となり、一時は光触媒から遠ざかっていた。こうして約 20 年が過ぎたころ、新規事業の立ち上げを行う部署のマネジメントを担当することとなったことをきっかけに、改めて社内で光触媒の事業化に向けて動き出した。しかし、思うように事が運ばず、「それなら自分でやろう」と独立。2018 年 4 月にカルテック株式会社を創業して代表取締役社長に就任した。

◆ 事業にける思い

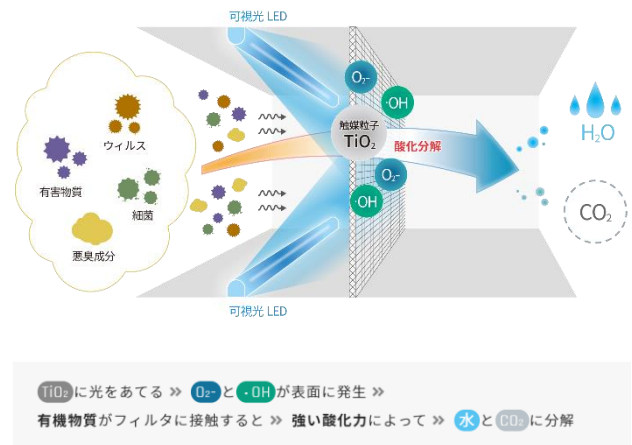
経営理念は、「水と空気、食の安全をデザインする 人と地球の未来のために」である。

光触媒技術を応用した生活家電の開発にとどまらず、将来的には光触媒という技術を通して地球の環境や人の安全というものを担保していきたいと考えている。これを実現するため、現在は身近な生活家電の中に光触媒を搭載した製品を開発し、光触媒というものの認知度をあげていく取組みを行っている段階である。また、ブランド戦略として、プレスリリースのほか染井氏が表に出て「光触媒」の啓蒙活動に力を入れている。

特徴・強み

◆ ビジネスモデルとその特徴

【光触媒反応とは】



光触媒反応とは、有害物質が光触媒技術を施したフィルターに接触すると、強い酸化力によって、水と二酸化炭素に分解される仕組み。この仕組みを応用し、空気清浄や水の浄化を行う製品を開発している。

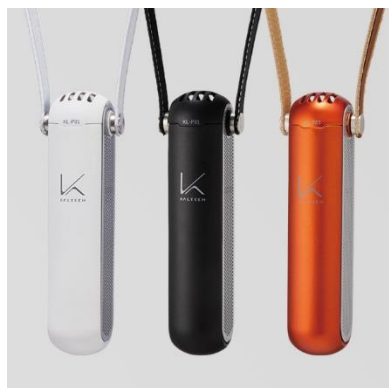
2018 年 12 月に OEM にて最初の製品を出荷して以降、シャープ株式会社で培ったノウハウを生かしながら光触媒を搭載した生活家電を世の中に送り出している。また、生活家電のみならずインテリアや身近な製品に光触媒を搭載していくことでその認知度を高め、「光触媒の素晴らしい」を人々に伝えていきたいという思いの下、製品開発を行っている。

2019 年 12 月に吸着フィルターを搭載しない壁掛けタイプの空間除菌・脱臭機「ターンド・ケイ KL-W01」を発売。これは独自の光触媒技術によって薄型で軽量化を実現した壁掛けタイプの

製品である。

また、2019 年 11 月には脱臭・除菌機能付き LED 電球「ターンド・ケイ KL-B01」を発売。玄関などの小スペースを 24 時間中、脱臭・除菌する事が可能で、光触媒フィルターを取り外して洗浄する事ができるため脱臭効果が持続できる製品となっている。

【ターンド・ケイ KL-P01(首掛けタイプ)】



さらに、2020 年 10 月には首掛けタイプのパーソナル空間除菌・脱臭機「ターンド・ケイ KL-P01」を発売。付属のストラップを使用して首掛けスタイルで利用できるほか本

体のクリップで胸ポケットなどにも固定できる。また、リチウムイオン電池を内蔵しているため、フル充電で連続 8 時間の使用が可能となっている。

生活家電の開発販売のほかにも当社の光触媒の技術を用いた実証実験を実施。2020 年 10 月、理化学研究所の協力により日本大学医学部と共同で、新型コロナウイルスに対する光触媒の有効性実験を行い、感染力の抑制効果を確認したと発表、併せて光触媒を搭載した除菌脱臭機を用いた実験結果を公表している。

◆ 強み・アピールポイント

従業員 28 名中、17 名がシャープ株式会社の出身者で、同社時代に培ってきた高い技術力によって製品開発力に優れており、カルテック独自の光触媒技術を開発している。

独自の技術として「ローンコーティング技術」(広い表面積によって分解力を高める技術)と「サイドフロー構造」(一度の空気の流れで、光触媒の反応効率を向上させる構造)が挙げられ、この技術は、他の方式よりも優位性が高く、製品の小型化を実現するなど、今後は様々な製品に展開することが可能となっている。

また、染井氏は人の意見を一度は全部聞くというスタンスを持っており、社員からの信望は厚く、全員が同じベクトルで将来の方向性を共有している点に強みを有している。

将来展望

◆ 今後の事業展開

5 年後、10 年後の目標とする到達点やロールモデル

2022 年に IPO を目指しており、その時点における売上目標は 150 億円としている。

5 年後、10 年後の具体的な売上目標は策定していないが、5 年後には光触媒を用いた「水」の浄化を普及させたいという思いがある。

10 年後については光触媒があらゆるモノ(製品)に搭載され、それが当たり前の世の中になっていることが目標である。

◆ 今後新たに開発したい商材・サービス

拡充したい販路(ターゲット層)

現在は光触媒を搭載した生活家電の製造販売が業務の中心となっているが、将来的な目標としては光触媒技術を通して世界の環境問題を解決していくことを念頭に置いている。

また、現状では「空気」に対する商品開発が中心であるが、次の段階として「水」に関する商品開発を進めており、2021 年には光触媒技術を用いた「水」に関連する新製品の販売を視野に入れている。

PR 事項

◆ 提供サービスにおける PR 事項

現在、売上の多くは製品販売であるが、更なる成長には製品販売だけでは限界があるとみており、空気清浄・水質浄化に関するシステム構築の売上が必要と考えている。

また、製品の販売ルートは確立されており、製造に関しても複数の協力工場を有しているため、売上の拡大にも対応できる生産体制を構築している。

会社概要

設立：2018 年 2 月
資本金：120,000 千円
従業員数：28 人
URL：<https://www.kaltec.co.jp/>
主力サービス開始時期：2018 年 11 月